

2 / 6 (火)

四つの種

— マタイによる福音書一三章一〜九節

ほかの種は良い土地に落ち、実を結んで、あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍になった。(8)

イエスは四種類の土地にまかれた種のたとえを用いて、神の国の福音とそれを聞く人々の心の様子を語られました。最初の道端とは、人に踏まれて堅くなっている土地で、福音を全く受け付けようとしない堅い心を表します。第二の石だらけの地は、土は薄く、すぐ下に岩が横たわっている土地で、福音を聞いて簡単に心を動かされるものの、心の中に深く根をおろしていませんので、困難に遭うとすぐに福音を捨ててしまう人のことです。第三の茨の地は、福音を信じてても、この世の多くのことに思い煩って信仰が成長せず、ついには福音から離れてしまう人のことです。最後の良い土地とは、丁寧に耕された土地のことで、み言葉の種を素直に受け入れ、豊かな実を結ぶ人です。私たちは日ごとにみ言葉によって心を耕していただき、豊かな実を実らせる信仰者にならせていただきたいと思います。